

津山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本語検定
科目基礎情報						
科目番号	0084		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	参考書：『日本語検定公式練習問題集 2 級』『日本語検定公式過去問題集 2 級』『日本語検定公式テキスト「日本語」上級（1・2 級受検用）』（以上、東京書籍）など、日本語検定公式ホームページ http://www.nihongokentei.jp					
担当教員	江原 由美子					
到達目標						
学習目的：日本語の総合的な運用能力を高め、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標 1. 日本語に関する知識を拡充し、多様な場面におけるコミュニケーションに活かすことができる。 ◎ 2. 効果的な説明方法や手段を用いて、コミュニケーションを図ることができる。						
ルーブリック						
	優	良	可	不可		
評価項目1	日本語検定 2 級以上に優秀な成績で合格する。	日本語検定 2 級以上に良好な成績で合格する。	日本語検定 2 級以上に合格する。	日本語検定 2 級以上に合格できない。		
評価項目2	日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かし、より良いコミュニケーションを行うことができる。	日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かし、円滑なコミュニケーションを行うことができる。	日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かし、コミュニケーションを行うことができる。	日本語検定 2 級以上の日本語の知識を活かしたコミュニケーションを行うことができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：国語 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：人文学／言語学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（3）生きるための活力と、その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（E）研究能力の育成、E－2：与えられた制約の下で、自主的・計画的・継続的に自己学習できること。」である。 授業の概要：日本語（敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字）についての学習を自主的に行い、日本語検定の受検でその成果を試す。					
授業の進め方・方法	授業の方法：担当教員の指導のもとに、日本語検定の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。 成績評価方法：日本語検定 2 級以上に合格した者は、担当教員に申し出るとともに、学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し、合・否で評価する。					
注意点	履修上の注意：所定の期日までに、選択科目履修願を提出すること。また、本科目は資格取得による科目であり、単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目（自発的学習科目を除く）の内、教務委員会で認定される単位数は、一般科目については4 単位以内である。 履修のアドバイス：一般会場（県内は岡山市と倉敷市に設置）で個人受検をすること。平成30年度の検定日は、第1 回が6月9日（土）、第2 回が11月10日（土）。 基礎科目：国語Ⅰ（1 年）、国語Ⅱ（2）、国語Ⅲ（3）、国語Ⅳ（4） 関連科目：日本語に関わる全科目 受講上のアドバイス： ・日本語検定は、「敬語・文法・語彙・言葉の意味・表記・漢字」の6 領域から幅広く出題され、合格には、全領域でバランスよく得点することが必要である。 ・2 級は社会人・大学生レベルであるが、実力での合格は難しく、受検対策の勉強が必要である。自身の日本語能力と受検日に合わせて、学習を進めること。 ・日本語検定の受検結果には、「認定」「準認定」「不合格」の3 種類があるが、単位が認定される「2 級以上に合格」は、「2 級認定」「準1 級認定」「1 級認定」のいずれかである（「準2 級認定」は含まない）。 ・力試して受検する場合は、単位にはならないが、3 級（社会人・大学生・高校生レベル）の受検を勧める。2 級と3 級を同時に受検することも可能である。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	日本語検定についてのガイダンス。			
		2週	担当教員の指導のもとに、日本語検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。			
		3週	同			
		4週	同			
		5週	同			
		6週	同			
		7週	同			
		8週	（前期中間試験）			
	2ndQ	9週	担当教員の指導のもとに、日本語検定 2 級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。			
		10週	同			
		11週	同			
		12週	同			

後期		13週	同	
		14週	同	
		15週	(前期末試験)	
		16週	担当教員の指導のもとに、日本語検定２級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに、日本語検定２級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
		2週	同	
		3週	同	
		4週	同	
		5週	同	
		6週	同	
		7週	同	
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	担当教員の指導のもとに、日本語検定２級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	
		10週	同	
		11週	同	
		12週	同	
		13週	同	
		14週	同	
		15週	(学年末試験)	
		16週	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0